



この一般質問の映像は  
こちらから

## 障がい者福祉について



高橋 輝

質問

### 手話言語条例の制定は

#### 町 来年度中に条例制定

問 具体的に、条例制定の時期は。

答 来年度中には、制定を考えている。

問 手話普及啓発に関する考えは。

答 障がい者に関する理解を深めるためのパンフレットを作成。その中で聴覚障がい者への接し方や、手話についても記載している。パンフレットは窓口を設置する他、小学校にも配布し、障がい理解教育に利用している。今後は広報紙やホームページにも掲載していく。

問

聴覚障がい児童が教育を受けられる環境は整っているか。

答

該当する児童が在籍する2つの小学校に難聴学級を設置し、防音の工事もしている。難聴学級は、児童の発達の特性と家庭の意向を尊重し設置してきた。今後も、県立ろう学校等関係機関との情報共有、連携を図り、児童が安心して教育を受けられることができる環境を整備していく。



手話サークルほほえみの活動の様子

## 町所有施設運用について

質問

### 町野外研修センター解体費用は

#### 町 概算で1800万円程度

問 既存施設解体撤去費用は。

答 あくまでも概算費用だが約1800万円程度かかる。

問 解体撤去予定は。

答 来年度設計を組み、再来年度に解体撤去する予定。

問 廃止後は更地になると聞いている。町有地として有効活用する考えは。

答 廃止後は、元の林地に戻す考えである。

問 隣接する御成婚の森等の管理はどうなるか。

答 今後のあり方、維持管理について、関連部署と協議していく。

問

年間約5000人もの宿泊者があり、廃止に反対する声も多い。指定管理者が自力での運営を希望しているが廃止する理由は。

答

自然体験学習の場として利用されてきたが、近年では町内利用者が減少している。町公共施設等総合管理計画においても、公共施設全体の適正な維持管理の財源を確保しなければならぬ。これらを踏まえて総合的に判断した。

●ほかに「ごみ問題について」の質問もしています。



那須町野外研修センター